

野鼠の生息数調べについて

大窪 勝・佐藤 修一・山根 大樹

1. はじめに

北海道演習林では固定調査区を設けて野ねずみ生息数の簡易調査を行っている。野ねずみ特にエゾヤチネズミはカラマツなどを好み樹皮を食害し過去から現在まで悩まされている。改植した造林地も幾らかあり、現在はヘリコプターの空中散布による防除方法が確立され、被害は最小限に防除されている。本調査は野鼠防除の一環として薬剤量の決定及び野鼠の発生状況などの対策のために行なっている。本報は1983年～1993年(11年間)のデータを整理したものである。なお1982年以前のものはすでに詳細に報告されている。¹⁾ 今回は主に、年度ごとの月別変化と場所別捕獲数を報告する。殺鼠剤はリカ亜鉛1%含有で1kg当り6,000粒のものを使用している。この殺鼠剤を鼠が食中すると胃液にふれ、ガス化するが、雨や雪などの水分に触れると効力を失う。毒物及び劇物取扱上「普通物」であるが使用基準があり鳥獣特別区、人家、学校動物や魚、飲料水の取入口付近の散布はさけている。殺鼠剤散布量の目安は生息数に応じて表-1のとおりである

表-1 殺鼠剤の目安

エゾヤチネズミ ha 生息数	散布 方法	ha当たり 散布量	摘 要
20頭以下	空中 2回	0.8 kg	1. 散布は生息数に応じ降雪前に10～15日間 隔でおこなう。 (1993年は10/21, 11/10に実行) 2. 造林地では、周辺30m巾を含めて散布する。 3. 地上散布は、15mx15mに1包の割で配置する。
21頭～50頭	空中 2回	1.6 kg	
51頭以上	空中 2回 地上 1回	1.6 kg 150 包	

当演で11年間実際に散布した面積及び回数は、'83・84年に296ha 1回、85・86年に296ha 2回、87・88年に296ha 1回、89・90年に296ha 2回、91・92年に299ha 1回、93年に303ha 2回 であり、ha 当り0.8kgを基準にし空中散布のみ実施している。

2. 調 査

期間は前述のように、1983年～1993年の11年間であり調査は6, 8, 10, 12月とし、プラスチック製ハンチュートラップで雨に強い姉妹のタネをえさに使い、罠掛けは1ヶ所 50mx100mの区画内で10m間隔で50ヶ所とし根株など掛易い場所にエサを坂の下側に3日間仕掛ける。設置場所は図-1のように天然林1林班、湿地2林班、造林地9林班、造林地11林班(1985年まで4林班)の4ヶ所で各区0.5haである。ネズ

ミの種類と記号は、B イゾヤネズミ、A イゾアカネズミ、G ヒメネズミ、M ミカドネズミ、S トガリネズミとしP カラフトアカネズミは便宜上 A に含めた。なお、S トガリネズミは総数としリスや鳥などの小動物は集計していない。

3. 結 果

図-1,3及び表-2に示す年度ごとの月別の結果をみると、1985年と'93年にイゾヤチ、総数共にピークにありその間に小さなピークが2～3度表れているが、周期はこの図だけでは断定できない。はっきり云える事は、イゾヤチの多いときは他のネズミも多い。月別の数では、総じて 10月>8月>12月>6月の順になっている。また、降雪があっても12月に多く捕獲された。被害は、冬から春先にて樹皮の食痕が見られ、食糧不足のためと見られる。次に場所別捕獲数をみると、表-3のように全般的にイゾヤチでは湿地>天然林>造林地⑨>造林地⑩の順となり、総数では 天然林>湿地>造林⑩>造林⑨で順位が変わる。これはイゾヤチネズミが名前のとおり湿地を好んで住かにしているためと考えられる。なお参考として図-4に種類別構成比を示した。野鼠生息数調査は1964～93年まで30年間継続し観察をしてきた。野帳の整備のため現在データベース化し、入力作業を進めている。このようなデータの蓄積は、野鼠駆除対策、発生予察などに有意義であると思われる。

4. 参考文献

- 1) 岡部宏明・光枝和夫・大牧治男・西村正廣・菅原哲二・山本俊明：北海道演習林標茶区における野ネズミの発生状況について。京大演集 16. 1～10, 1983

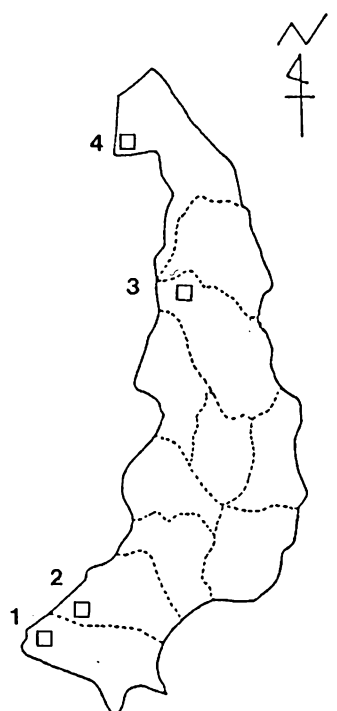


図-1 設置場所
1天然林 2湿地 3造林地 4造林地

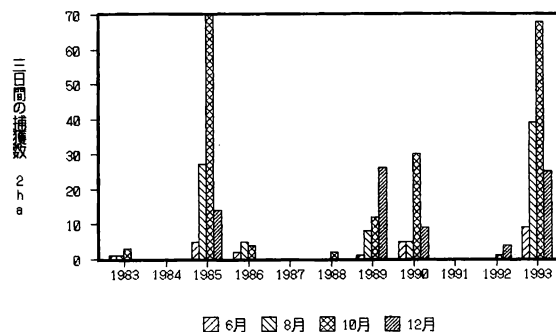


図-2 イゾヤチの捕獲数
注：結果は4調査区を合計した数である。

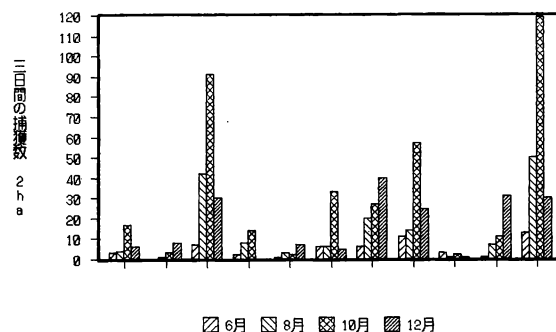


図-3 野ネズミ総捕獲数
注：結果は4調査区を合計した数である。

表-2 月別捕獲数

単位:匹

年\月	エゾヤチネズミ				野ねずみ総数			
	6	8	10	12	6	8	10	12
1983	1	1	3	0	3	4	17	6
1984	0	0	0	0	0	1	3	8
1985	5	27	70	14	7	42	91	30
1986	2	5	4	0	2	8	14	0
1987	0	0	0	0	1	3	1	6
1988	0	0	2	0	6	6	33	5
1989	1	8	12	26	6	20	27	40
1990	5	5	30	9	11	14	57	25
1991	0	0	0	0	3	1	3	8
1992	0	0	1	4	1	7	11	31
1993	9	39	68	25	13	50	119	30

表-3 場所別捕獲数

年\月	エゾヤチネズミ				野ねずみ総数			
	①天	②湿	③造	④造	①天	②湿	③造	④造
1983	0	1	3	1	4	11	10	5
1984	0	0	0	0	8	0	3	1
1985	22	32	29	33	33	47	55	35
1986	0	3	0	8	0	9	1	14
1987	0	0	0	0	2	5	0	4
1988	1	1	0	0	21	16	2	11
1989	18	23	5	1	30	35	10	18
1990	18	10	9	12	44	17	12	34
1991	0	0	0	0	7	0	3	5
1992	3	2	0	0	17	13	3	17
1993	51	51	31	8	66	71	44	31

注:①天然林 ②湿地 ③造林地 ④造林地



図-4 野ねずみ種類別構成比